

廣 嶋 縣 鑛 山 景 況 概 略

久 泉 原	九十三貫六 百目三付	五四〇	八四	七十九貫 目二付	二二五	一九〇	四三	二十六貫 目二付	一、四六一
釜 ヶ 崎	全	五四〇	二四九	全	二二三	九八	四三〇	全	一、五三〇
板 井 谷	百〇二貫四 百目三付	五八五	二四八	八十三貫 目三付	二五〇	一六〇	四〇五	全	一、六四八

製 鐵 原 價 見 込

作 業 場	銑 原 價	銑 運 賃	小 炭 原 價	小 炭 運 賃	職 工 賃 其 他 諸 入 費	鐵 運 賃	原 價
四 谷	卅六貫二百 九十六匁二 付	四三	四十五貫 目二付	二二六	一、一三三	卅三貫六 百目二付	三、五九一
中 野 谷	全	四七	全	一五〇	一、〇六六	全	三、六四一
大 津 惠	全	一三一	全	二九五	九七五	全	三、七四一

○ 西 字 新 聞 抄 譯

英 國 カ ル デ ヒ ツ フ 港

(ブリストル海峽)ニ於ケル一要港

ニ 設 置 ノ 新 浮 用 船 渠

工 學 士 福 地 文 一 郎

一 千 八 百 八 十 七 年 六 月 二 十 四 日 倫 敦 ク ラ イ ー ク 及 ス タ ン ド フ ヒ ー ル ド
會 社 ハ エ ッ セ ッ ク ス 州 グ レ ー ニ 於 ケ ル 其 新 工 場 ニ テ カ ル デ ヒ ツ フ ダ

ムフソ一船舶及機械製造會社ノ爲ニ一新浮用船渠ヲ竣工放水シワツ
 トキンス船線ラインニ属スル強力曳船オーストラリア及アングリアノ二艘
 ナ以テ之ヲ導キ航海中一ノ障害ニ接スルナク今年六月廿九日無難ニ
 カルデヒツフ港へ着シウユストマッドマッドへ灣泊セリ右ハ從來設置セシ浮用
 船渠中ノ最大ナルモノニシテ嘗テ殆ソド之ト全種ノ者ヲバルローイ
 ンフハルチツスニ建設シ良結果ヲ得タレハ遂ニ此舉アルニ至レリ然レ
 氏各箇所大ニ改良スル所アリト云フ其形ハ(L)字ニ類シ從置及横
 置ニ數個ノ支水區室ニ分畫セラレ各箇別々ニ排泄塞絶スルヲ得ルノ
 ミナラズ遮水瓣ノ設ケ亦甚ダ完全ニシテ自動開閉ノ裝置及ビ人力ヲ
 以テ開閉シ得ヘキ配置ヲ備ヘ或ハ別々ニ或ハ共ニ之ヲ使用スベカラ
 シム

船渠ヲ入渠修繕スルノ業極メテ容易ニシテ内部ノ総瓣ヲ開放シ各區
 室ニ水ヲシテ滲入セシムルノ準備ヲ整ヘ外部ニ設ル遮水瓣ヲ舉起ス

レバ水ハ直ニ渠内ニ滲入シ船渠ハ漸次其沈降ヲ始メ(若シ船渠ノ何レ
 ノ側カ他側ヨリ速ニ沈下スルノ傾アルキハ之ヲ充分平位ニ保チ可成
 不偏ノ位置ニ整齊スルノ裝置アリ)大凡十分時ヲ經テ水底ニ沈ム(船渠
 ノ陸地ノ方ニ於ケル側ハ海岸ニ設クル定着直立棟柱ニ取付ケ以テ之
 ナ常ニ其適當ノ個所ニ沈メシム)水底ニハ之ヲ受ルニ整滑ナル鐵鈚ノ設
 アリ其沈ムヲ待チ修繕ス可キ船舶ヲ其上ニ導キ先キニ滿セシ水ノ幾
 分ヲ排出スレバ船渠ハ漸ク浮ミ出シ遂ニ之ニ設ル船底受臺ハ船ノ龍
 骨^キナ(V)字形ニ支受スルニ至ル受臺ハ機械的作用ヲ以テ陸上ヨリ動シ得
 可ク或ハ之ヲ提起シ或ハ之ヲ下降シテ完全適應ノ位置ニ支ルヲ得セ
 シム然ル後渠内ノ水ヲ抽出スレバ船渠ト共ニ浮出シ遂ニ其全体ヲ顯
 スニ至ル

船渠ニ備付ル諸唧筒ハ其功力大ニシテ船渠直立側ノ上部區室ニ据付
 ル強力横置機關ヲ以テ之ヲ動ス又船渠ノ水平ハ何所ニアリト雖モ

パワーニール
ホルソントル
エンジン

バイチカル
サイド
アッパ
チエン
バイ
レベ
ル

雖モ

蒸氣ハ常ニ陸上ノ職工場据付瀛罐ヨリ之ヲ引用スルガ故ニ船渠ノ重量及ビ空所トモ大ニ之ヲ減スルノ益アリ

右諸強力唧筒ヲ合用スルキハ大凡四十五分間ニシテ船舶ヲ提起シ其船底ヲ檢査シ再ビ之ヲ水中ニ放浮スルヲ得小形船ノ如キハ僅々十五分時ヲ出デズ

船渠掛ノ者ハ其日光及大氣ニ暴露セルヲ以テ大ニ心身ノ爽快ヲ覺ユルノミナラズ爲ニ塗料等ノ乾淨ヲ速ニスルノ功アリ製造工事ヲ監督セシサー、エドワルド、リード氏云ク此船渠ニ於テハ船舶ノ大小ヲ問ハズ皆容易ニ入渠シ得ルノ便アルノミナラズ船体ハ其全長ニ適應均一ノ支受ヲ受ルヲ以テ曾テ強伸スルコトナシト

譯者云ク此船渠ノカルデヒツフ港ニ新設セラレタル其便益知ル可シ聞ク其結果ノ良好ナリシヲ以テ正シク全一摸形構造ノ一船渠ヲハムボルグ港ニ建設スル計畫アリト我國海軍事業漸次隆盛ニ赴キ

鹽ヲポルトランド、セメントニ用ユルヲ

二十六

船舶ノ如キモ大ニ其數ヲ増加スルノ今日ニ當リ宜シク樞要ノ地ヲ相シ此種船渠ヲ設置セバ宿ニ其地ノ繁榮ヲ見ルノミナラス其國家ヲ益スル蓋シ淺少ナラザル可シ

○左ノ一篇ハ工科大学々生村上野口兩氏ノ譯述ニ係ルトテ本會正員山口準之助君ヨリ寄送セラレタルニ由リ茲ニ掲ケテ會員諸君ノ參考ニ供ス

鹽ヲポルトランド、セメントニ用ユルヲ 村上 亨 一
野口 衆 馬

寒威料峭の時に當リモールターの往々凝結(凝固)するに非らずして(し)爲め又其効力に於て損する所甚しく之と防ぐの方法は工學家の知らんと欲する所たるべく現に本年英國土木工師會院の懸賞論文にも(鹽)をポルトランド、セメント及コンクリートニ用フルノ影響如何と云ふ

インスチテューション、ラフシビル、エンヂニアース

一問題をも出せる次第なり我國にても已に冬時の工事には鹽をモールター中に用ゐて効用を奏したる事も之れある由爰に昨年九月の英